

オダカイサマ

[題字は鶴岡市見守り支援コーディネーター伊藤エヨさんとお孫さんから書いていただきました]

ワークショップで活発な意見交換



地域の伝統を知る



地域福祉実践研究セミナー開催 「福祉でまちづくり」をめざして



各ワークショップごとの成果の報告



ワークショップの報告に表情は真剣！

交流会で化け物に変身！

第13号

平成19年11月15日

編集・発行

社会福祉人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市西新斎町14-26

TEL 24-0053・FAX 23-9110
<http://www.shk01.jp/>

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-3266

8月30日から9月1日までの3日間にわたって、地域福祉実践研究セミナーが開催されました。このセミナーは、NPO法人日本地域福祉研究所が、福祉先進都市を会場にして毎年開催し、13回目となる今年は、鶴岡市と鶴岡市社会福祉協議会の共催で行いました。

全国各地から集まった地域福祉の実践者らが親交を深め、また、鶴岡での実践活動の特色を再認識することができた、大変有意義なセミナーとなりました。

特集 「地域福祉実践研究セミナー」

* 目次 *

合併後の地域福祉のあり方は	P 2
会長新任・退任あいさつ	P 3
ワークショップで地域福祉活動を探る！	P 4
総括コンサルテーション	P 5
情報掲示板	P 6

鼎談 「鶴岡市における地域医療・保健・福祉の実践」

合併後の地域福祉



住民と行政が協働し、パートナーシップを 大橋理事長

うに思うが、交流する場が圧倒的に少ないのが現状。今後、福祉施設での看取りの問題、介護老人保健施設における越冬入所の情報の共有、といった保健・医療・福祉のネットワークを構築することが重要。介護保険では医師、看護師、理学療法士、ケアマネージャーが横一線でチームを組み、医療もその人の生活をカバー・手助けをする一部であるという意識を持ちながら連携して支援を行いたい。」

大橋理事長 「これからは、住民と行政

が協働しパートナーシップをとる時代。共同募金もかわいそうな人にお金を出すという意識から、地域をつくる市民を応援するものに変わっている。住民活動も財源をすべて補助金など行政に頼るのではなくて、自分たちの活動は自分たちでお金を出し合い、また、行政は住民に何でも丸投げしたり、頑張るからついてきてということではなく、協働していくことが必要。

また、住民が医療に関して発言できる機会もぜひつくってほしい。そして、医師をはじめとする医療機関の職員は他の専門職とも対等な立場であり、役割が違うだけだという自覚を持ちながら支援を行つてほしい。鶴岡の医師会が地域で頑張ろうとしているのは大きな強み。

これらの住民と行政が協働するシステムと、住民が医療に対しても発言できる機会の保障を確立してほしい。鶴岡では課題を解決する仕組みができつつある。このセミナーを通じて、全国に新しいサービスの仕組みができると思う。」

富塚市長 「今後は、人口や産業や就業などの地域の変化に対する見通しを立て、方向性を市民のみなさんに提案したい。市民のみなさんと共に考え、一緒に解決していきたいと思う。」

鶴岡市社会福祉協議会 会長

新任・退任あいさつ

十月二十八日に行われた理事会において互選により新会長が決定されました。



鶴岡市社会福祉協議会
会長 富 榎 毅



鶴岡市社会福祉協議会
前会長 薫 嶺 十五

この度、鶴岡市社会福祉協議会の会長を退任することとなりました。
市民の皆様からは、常に温かいご理解ご支援、ご協力を頂き、お陰で大きな変革の中、今日まで無事に任務を果たすことができました。厚く御礼申し上げます。
今後とも鶴岡市社会福祉協議会をご支援下さいますようお願い申し上げ、お別れのご挨拶いたします。

2日目 ウークショップで地域福祉活動を探る!

セミナー2日目の8月31日は、旧6市町村8つの会場に分かれて、ワークショップを行いました。テーマにそった実践事例の発表があり、それをもとにして、今後の地域福祉活動について参加者それぞれの所属から様々な視点での意見が交わされ、とても充実した話し合いとなりました。

ワークショップ2



「中山間地（超高齢化地域）における 地域福祉実践の可能性」

- | | |
|---------|---|
| ●アドバイザー | 山口県立大学教授 草平武志氏
文京学院大学助教 菱沼幹男氏 |
| ●事例発表者 | 菅原源志さん(老人クラブ青年部発起人)
大瀧貞吉さん(大鳥タキタロウ村村長) |
| ●会場 | 朝日大鳥自然の家 |
| ●参加人数 | 25人 |

老人クラブ青年部の立ち上げや、タキタロウ村の活動についての事例紹介と合わせ、大鳥地区の散策を行いました。大鳥地域の抱える課題を確認し、交流人口を増やすことに主眼を置き、既存の地域資源の更なる充実を図り超高齢化地域の活性化に向けた様々な意見が出されました。

交流会では、地元の方よりまたぎの実演が行われ、参加者の方へ熊汁がふるまわれ、大島地域の文化に触れていたとき地域への理解を深めました。



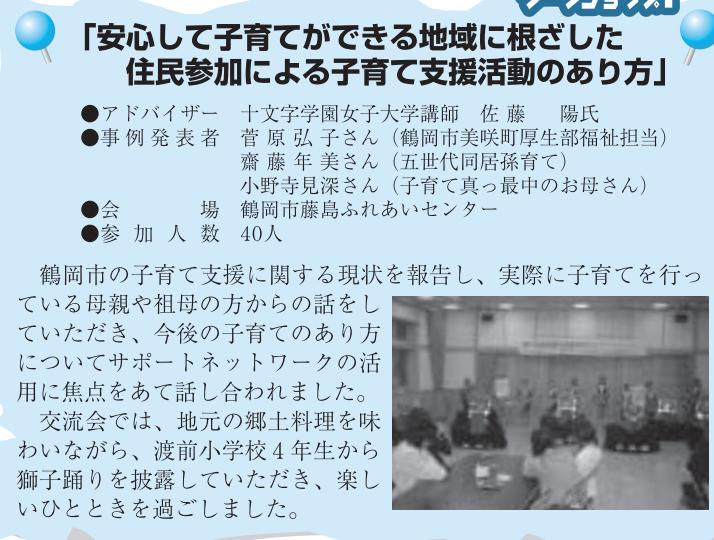
ワークショップ6

鶴岡市における見守りサービスとホームシェアリングについての報告があり、ケアサービスの確立を目指すため、家族との信頼関係の構築の方法や在宅生活を維持できるようにするための方法について考えました。話し合いは夜遅くまでかかりましたが、特産のだだちゃ豆などを食べながら参加者同士が団結し、「二日目にはまとまりの良い報告ができました。



ワークショップ2

「いいかの健康づくりと「ミコニティソーシャルワーク」
「いいかの病を認め命えるやさしい地域づくり」



「安心して子育てができる地域に根ざした 住民参加による子育て支援活動のあり方」

- アドバイザー 十文字学園女子大学講師 佐藤 陽氏
 - 事例発表者 菅原弘子さん（鶴岡市美咲町厚生部福祉担当）
齋藤年美さん（五世代同居孫育て）
小野寺見深さん（子育て真っ最中のお母さん）
 - 会場数 鶴岡市藤島ふれあいセンター
40人
 - 参加人数

鶴岡市の子育て支援に関する現状を報告し、実際に子育てを行っている母親や祖母の方からの話を聞いていただき、今後の子育てのあり方についてサポートネットワークの活用に焦点をあて話し合われました。

交流会では、地元の郷土料理を味わいながら、渡前小学校4年生から獅子踊りを披露していただき、楽しいひとときを過ごしました。

ワークショップ3

- 事例発表者　社会福祉法人永寿会　鷹野吉章氏
　　上野由都さん（黒川能下座長）
●場所　上野繁美さん（鶴岡市柳引東小学校地域案指導者）
●参加人数　25人

を担つておあり、この地域力を継承するためにはNPO法（ブランド化）をしたり、サロン活動を通して住民が気軽に集まる場づくりが必要ではないかという意見が出されました。

その後の交流会では、事例発表者の上野座長から仕舞を舞つていただき、参加者から黒川地区が五百年以上守り続けてきた伝統を肌で感じてもらうことができま



一 地域の伝統・文化を生かした 地域活性化

ワークショップ5 「高橋の面接」

- アドバイザー 東京国際大学講師 中島 修氏
 - 事例発表者 五十嵐英夫さん（鼠ヶ関自治公民館長）
五十嵐幹雄さん（関川自治公民館長）
本間 文夫さん（五十川自治公民館長）
 - 会 場 温海ふれあいセンター
 - 参 加 人 数 29人

温海地域の自治公民館を拠点とした、自治会・公民館活動による住民を中心とした地域ぐるみの福祉活動を研修し、自治公民館と地域福祉活動が連携していくための検討を行いました。研修には各集落への現地踏査を組み入れましたが、参加者は自治会活動にとても関心を持たれたようで、質問が大変多く飛び交いました。



「認知症高齢者の生活を継続するための
地域一タルケアシステムのあり方」

- アドバイザー 埼玉県立大学教授 本田芳香
事例発表者 伊藤工三さん（鶴岡市貢献支援員）「ティニーターン」
佐藤 優（鶴岡市高齢者福祉センター・おもやま施設長）
阿部 宏予さん（キヤラバ・ハイム）
第2学区「ミニユーティ防災センター」

「住民主体によるメタボリックシンドローム 予防活動から介護予防への展開

- アドバイザー 埼玉県立大学教授 野川とも江氏
(元)三郷市健康福祉部 高杉春代氏
 - 事例発表者 小林まゆみさん(鶴岡市健康づくり主査)
渡部君子さん(スーパー健康づくりサポート喜楽喜楽)
 - 会場数 地域福祉センターなえづ
 - 参加人数 23人

国保ヘルスアップ事業とスーパー健康づくりサポーターの活動の紹介があり、地域での介護予防活動の展開として、いつまでも自分らしく自立した生活を送るためには、自分が受け入れられている場・認めてもらえる場（サロン的な場）が必要であると話し合いました。

事例発表者の渡部さんからいただいた市への感謝の言葉に思わず涙ぐむ伊健師さんがおり、それを見た講師がさらに感激する場面がありました。

3日目 アクトショップ 総括コンサルテーション

カーという役職の人なのか。どのような機関の人が、どういった研修を通して触媒機能をもつた活躍ができるシステムをつくるかを真剣に考えなければならぬだろう。

いとすれば、アウトソーシングする必要があるのか。その時、社会福祉協議会には的確な人材がいるのだろうか。社会福祉法人のあり方も問われている。私はこ^二一^二年の間に鶴岡市が合併後的新しいシステムをつくるにあたって、行政組織の再編成、職員研修のあり方などが大きな課題を持っていると思う。

時代の変化をとらえ新しいシステムの構築を

大橋謙策理事長

とができるシステムをつくる必要

一施設やNPOと協働した小地域における 福祉でまちづくりの展開

一施設やNPOとの協働した小地域における
福祉でまちづくりの展開

者や、地区の自治会・福祉施設の代表者による「福祉でまちづくり」につながる活動の紹介などにより、同地区についての理解を深めました。午後の話し合いで、除雪（生活路の確保）の問題や、世代間交流不足などの地域課題に対し、地区の強みである自治会機能を尊重しつつも、徐々に各種資源によるネットワーク作りを進めしていく必要性について話し合いました。

話し合いが煮詰まつた時は、ボランティアによる手作りコピーで、頭をリフレッシュし、さらに議論を深めました。

日常生活に埋没してゐる部分を住民や関係者が自覺し、地域や社会の中で一つの仕組みとして新しくサービス開発していくことが大事なのではないだろうか。

二つ目は、住民活動の活性化と触媒機能の重要性である。行政が依頼して住民活動の組織をつくるだけでなく、それらの活動を活性化するために行政と住民が協働できるよう、間をつないでいく人の役割がかなり重要だ。その役割を担う人は、地域に入つて行きアドバイザーとしての能力が必要となる。誰が、どういううきっかけで住民活動を活性化していくための働きかけを行うのだろうか。行政、社会福祉協議会、福祉施設の職員なのか、もしくはコミュニティソーシャルワーカー

四つ目は、合併後の新しい鶴岡の地域福祉の視点からのシステムをどうつくるか。高度医療など広域的に考えた方がいい問題もたくさんあるが、教育や福祉はできるだけ身近なところで行う必要があり、広域化と地域化ということが問題にならう。在宅介護支援センターや地域包括支援センターの役割や重要性を含め、そのあり方やシステムのつくり方を考えることが、これから鶴岡にとって最も大事なこと。また、行政が住民に頼むばかりではなく、住民が行政に自由に意見を言える機会を保障しなければならぬ。直接対人援助をするサービス分野といふのは、福祉の勉強をしてきていない一般行政職員がやれるだろうか。やれな

A black and white photograph of a middle-aged man with glasses, wearing a light-colored button-down shirt. He is seated at a table with a microphone in front of him, looking slightly to his left. A name tag is visible around his neck.

情報掲示板

さかせよう！みんなのえがあ
みつけよう！あなたのかがやき+

かたぐるま祭さい

楽しいステージ発表とおいしいメニューの模擬店があなたをお待ちしています。ぜひおいで下さい！



- 日 時 12月2日(日) 10:00~15:30
●場 所 鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま
 鶴岡市ほなみ町3-2
●内 容 •ステージ発表…歌と踊りで盛り上がろう!
 •模擬店販売…カレーライス・豚汁・かたぐるまのパン等
●問合せ 鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま 担当 山村
☎28-3136/FAX 29-2294

「おもちゃの病院」大切なおもちゃ治します!

- | | | |
|--------|---|---|
| ●日 | 時 | 毎月第3日曜日 9:00~12:00 |
| ●場 | 所 | 鶴岡市中央児童館 |
| ●内 | 容 | 子ども達の壊れたおもちゃを治します。
その日のうちに治せない時は入院治療いたします。 |
| ●費 | 用 | 無料（電池交換等の実費は自己負担） |
| ●次回開催日 | | 11月18日(日) |
| ●問 | 合 | セ |
| | | 鶴岡市中央児童館 ☎24-4608 |



社会福祉法人 月山福祉会
障害福祉サービス事業
作業所月山 ☎24-8541

競輪福祉車両補助整備事業を受け、移送車Ⅲ[車いす仕様(リフト式)]を購入。多くの通所者が社会参加(施設利用)の為、安全に快適に通所しています。

素敵な口ゴと一緒に「リンリン
ン、ゴー！」今日も一日頑張り
ます。

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
(平成19年8月21日~平成19年10月20日までの寄付を掲載いたしました)

★一般社会福祉事業へ

- | | |
|------------------------|------------------|
| ◎鶴岡福祉センター | |
| 鶴岡なつメロ愛好会 様 | 100,000円 |
| 鶴岡カラオケ友の会 様 | 30,000円 |
| (有)ハーバーコーポレーション(めん蔵) 様 | 6,000円 |
| 鶴岡北高校松ぼっくりの会 様 | 2,573円・手作印封筒 |
| 八沢会 様 | 100,000円 |
| 田川建設労働組合鶴岡大工支部 | 30,000円 |
| ◎藤島福祉センター | |
| 曹洞宗山形県第三宗務所第九教区 様 | 40,000円 |
| ◎羽黒福祉センター | |
| 羽黒庁舎職員ボランティアグループ 様 | 高齢者疑似体験セット(1セット) |

- | | |
|------------------------|-----------------|
| ◎櫛引福祉センター | |
| 前田三雄 様 | 人形1対、座椅子2台、鏡台2台 |
| ◎朝日福祉センター | |
| 匿名 | 6,240円 |
| ◎温海福祉センター | |
| 本間茂子 様 | 30,000円 |
| ★高齢者福祉センターおおやまへ | |
| 夏の思い出チャリティコンサート実行委員会 様 | 30,000円 |
| 大山商工業納品組合 様 | 20,000円 |
| ★とようら老人デイサービスへ | |
| 藤島カラオケ愛好会 様 | 30,000円 |

★おきづき人マイサービスセンターへ

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ★なんじん老人センターへ | 古着 7 点 |
| お宝中古市場 様 | |
| ★中央児童館へ | 古着 4 点 |
| お宝中古市場 様 | |
| ★鶴岡老人福祉センターへ | 本 2 冊 |
| 杉田守弘 様 | |
| ★デイサービスセンターおおやまへ | |
| 川上浩平 様 | DVDカラオケ機・DVD 4 枚 |
| ★知的障害者授産施設もみじが丘へ | |
| 匿名 | 100,000円 |
| (有)ヒエヌキ(北海道木古内町)様 | じゃがいも 20kg |
| 函南町杏林組合 様 | 新米精製米 1kg (× 2 本) |

に大はしゃぎ。十数人の化け物の登場に見る側も大喜びし、携帯電話のカメラで撮影していた。そうした姿は前回のセミナーでは見られなかつたこと。

あれから時間は経つた。あの日、言葉を交わした人達が住んでいる場所こそ違つても、同じ目的でそれぞれ頑張っている。そう自分を奮い立たせている毎日である。(K)

ついにこの日、この時がやつてきた。それぞれのワークショップを終え、心なしかみな一様に表情も安堵の色が伺える。六、七、八ワーケーションの交流会は「かたぐるま」にて行なわれた。目玉は当たりくじを引いた人が天神祭の化け物に扮装すること。扮した人達はまるで全國祭の通りのよう

地域福祉
実践研究セミナー
交流会

ほつと コラム

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

発行部数 50,000部

おだがいさま 6